

新型コロナウイルス感染症対策 ～9月からの学校生活とお願い～

日頃より本校教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

新型コロナ感染症が流行し、1年半が過ぎました。そして今、感染しやすく、重症化しやすい可能性が指摘されている変異株の割合が市内においても増加しており、従来株からの置き換わりが進んでいます。

また、若い世代でも感染しやすい可能性が指摘されており、市内でも生徒や教職員の陽性者数が増加しています。

このような状況の中緊急事態宣言も延長され、今後の学校生活を安全に送るため昨年最初の緊急事態宣言が発出された頃を思い出し、「慣れてしまったコロナ禍の生活」から緊張して生活していた頃を思い出し、学校においても、「3つの密」を徹底的に避ける、「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」など基本的な感染対策を継続する。

そして感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、生徒達の安全で健やかな学びを確保していくためには、感染リスクをゼロにすることはできないという事実を含め生徒達には、『今、自分が何をしなければならぬのか』を考えて、行動してほしいと思います。保護者の皆様にもまだまだお願いすること、ご協力いただくことも多くあります。そして生徒の皆さんにも、協力してこの時期を共に乗り越えたいと考えています。

また、これからは新型コロナウイルスに加え、インフルエンザやノロウイルスも流行する季節を迎えます。手洗い・うがいの基本的な予防策をよりこまめに、そして丁寧に実施してほしいと思います。

保護者の皆様、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。



学校では、生徒たちが安心して登校できるよう、次のことを行っています。

ご家庭でも、感染症予防のご理解とご協力をお願いします。

- ① 家庭で：検温・健康観察。(家族間感染が多く発生しています。ご家族の健康観察をお願いします。)
- ② 登校中：電車やバスなどの公共交通機関を利用する人は、必ずマスクを着用してできるだけ人との間隔を開ける。会話も控える。徒歩・自転車通学者で、複数で登校する場合には、マスクを着用。大声での会話を控え、間隔をあけて通学する。
- ③ 登校後：教室前で手指消毒。検温未実施生徒は学年ステーションで検温をし、手洗い・うがいをする。
- ④ 朝HR：教員による健康観察及び生徒による健康チェック表の記入と回収。
- ⑤ 授業中：マスクの着用。常時窓を開けて換気。
- ⑥ 休み時間ごと：5～10分の換気。手洗い・うがいの励行。
- ⑦ 昼食：手洗いの励行。手指消毒。前向き。密の状態での食事と会話を控える。
- ⑧ 放課後：机いすの消毒、ドア・窓、トイレなど多くの生徒が触れる場所の消毒。
- ⑨ 各ルーム・各階に大容量の加湿器を設置。教室内の乾燥を防ぐとともに空間除菌を実施。

家庭内で感染させないための注意点とは

自分や家族に風邪の症状がある場合やすでに新型コロナウイルス感染症への感染が判明して自宅療養をする場合は、以下の点に注意してください。

1 感染者と他の同居者の部屋を可能な限り分ける

感染者が療養する部屋と他の家族がいる部屋をできるだけ分けます。感染者の部屋を窓があるなど、換気の良い個室とします。感染者は極力部屋から出ないようにして、人との接触を減らすことが大切です。感染者の行動を制限し、共有スペース（トイレ、バスルームなど）の利用を最小限とし、その換気を十分に行う（窓をしばらく開けたままにするなど）。部屋数が少ない、といった理由で、部屋を分けることができない場合でも、感染者から少なくとも2m以上の距離を保つことや仕切りやカーテンなどを設置し、ウイルスが飛沫して感染する可能性を少しでも減らしておきましょう。食事や眠るときも別室にするのが理想です。同じ部屋で寝るときは、頭が向き合うように枕の位置をそろえて並んで寝るのではなく、互い違いにするだけでも、感染者の顔からの距離がとれるようになります。

2 感染者の世話をする人は、できるだけ限られた方（一人が望ましい）にする

感染者の身の回りの世話が必要な場合、世話する家族には感染する可能性があるため、可能な限り一人に決めておいた方がよいです（心臓、肺、腎臓に持病のある人、糖尿病の人、免疫の低下した人、乳幼児、妊婦等の方はなるべく避けて下さい）。

3 できるだけ全員がマスクを使用する

感染者、家族の両方がマスクを着用することで、ウイルスの拡散を防ぎます。使用したマスクは、他の部屋に持ち出さずに部屋の入口に置か、すぐ捨てるようにしましょう。また、マスクは、のど・鼻周囲を加湿する効果もあります。マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外し、マスクの表面には触れずに廃棄します。マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗ってください（アルコール手指消毒剤でも可）。マスクが分泌物で濡れたり汚れたりした場合は、すぐに新しい清潔な乾燥マスクと交換すると良いでしょう。

4 小まめにうがい・手洗いをする

ウイルスのついた手で目や鼻、口などを触ると粘膜・結膜を通して感染することがあります。家族はこまめに石鹸を用いた手洗いもしくはアルコール消毒をしましょう。

5 日中はできるだけ換気をする。

感染者のいる部屋は、定期的に換気をしましょう。他の家族がいる部屋も換気をしたほうが良いでしょう。エアコンなどの空調や換気扇をまわしたり、日中の温かい時間に窓を開けるのも良いでしょう。

6 取っ手やドアノブなどの共用する部分を消毒する

タオルや食器、箸、スプーン等などを共用しないことも大事です。トイレやお風呂は、家庭用の掃除用洗剤でもウイルス量を減らすことができます。洗濯や食後の食器洗いを別洗いしたりする必要はありません。タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは、通常の洗濯や洗浄を行います。感染者のものを分けて洗う必要はありません。ただし、洗浄前のものを共用しないでください。特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどで共用しないようお互いに確認しましょう。



感染者が別の部屋で生活していても、トイレ、洗面所、浴室などを共用すると思います。ウイルスは物についてもしばらく生存しているため、ドアのノブ、ベッド柵にウイルスがついている可能性があります。0.05%の次亜塩素酸ナトリウム（薄めた漂白剤）で拭いた後水拭きするか、アルコールで拭きましょう。トイレや洗面所の清掃をこまめに行いましょう。清掃は、市販の家庭用洗剤を使用しすいだ後に、0.1%の次亜塩素酸ナトリウムを含む家庭用消毒剤を使用します。

7 汚れたリネン、衣服を洗濯する

新型コロナウイルス感染症は下痢の症状がみられることがあり、糞便からウイルスが検出されることがあります。体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う場合は、手袋、マスクを使用し、一般的な家庭用洗剤を使用した洗濯機を使用して、洗濯し完全に乾かします。

8 ゴミは密閉して捨てる

鼻をかんだティッシュなどにもウイルスがついています。同居者が触ると感染する可能性があるため、すぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨てましょう。その後は直ちに4.にある手洗いを行ってください。

9 家庭内でのクラスターをどう防ぐ？

医療機関以外でもクラスターは発生する可能性があります。家庭内でのクラスターを防ぐためには、予防の体制づくり、手洗いやうがい、マスクの着用など基本的な感染対策や環境消毒、家庭ではドアノブや電気のスイッチ、トイレ、パソコンのマウスなど、家庭内で家族が多く触れるところを消毒しましょう。

特にトイレには、多くの人の手が触れる場所がたくさんあります。たとえば、「ドアノブ」「カギ」「洗浄レバー・スイッチ」「トイレトーパーホルダー」「便座」「フタ」などです。これらにはウイルスが付着している可能性があります。そのため、トイレ使用後の手洗いはとても大事です。



10 正しい手洗い方法は？ 手を洗った方がいいタイミングとは？

何かに触ったら手洗いをするのが大切です。自宅の中は安心ですが、油断は禁物です。特に顔や口、目、鼻には粘膜があり感染のリスクは高くなります。顔に触れる前は、手洗いをするよう心がけましょう。

また、飲食をする際にもしっかりと 20 秒程度の手洗いをしましょう。



新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ・かぜの症状の比較

	特徴	発熱	咳	咽頭痛	息切れ	だるさ	関節痛	頭痛	鼻水	下痢	くしゃみ
新型コロナウイルス感染症	軽症～重症まで幅広い 季節性は不明	平熱～高熱	◎	○	○	○	○	○	△	△	×
かぜ	徐々に発症 (だらだら続く) 年中みられる	平熱～微熱	◎	◎	×	○	×	◎	◎	×	◎
インフルエンザ	突然発症 冬に多く数日で軽快	高熱	◎	◎	×	◎	◎	◎	○	○	×

出典:オーストラリア政府啓発資料より

◎:頻度高い ○:よくある △:ときどきある ×:まれ

登校2週間前から特段の注意を!!

夏休みも残すところ、2週間になりました。9月からの学校生活がスムーズに行われるよう、この2週間の健康観察をしっかりとこなってください。

そして生徒たち全員が元気に登校し、可能な限りウイルスを持ちこみリスクを少なくすることが重要です。ウイルスの潜伏期間を考慮して、夏休み明け前の2週間前からは感染リスクの高い行動はできる限り避けてください。

さらに家庭内での感染を防ぐため、保護者や生徒と同居する家族、そして教職員も同様に、「学校再開の2週間前」からの行動に配慮し生徒本人だけでなく、家庭と学校が一丸となって、生徒たちを守るために準備を進めていたきたいと思います。

9月上旬には神無祭、10月末には2年生の修学旅行、3年生は進路実現に向け大切な時期に入ります。

朝、ご家庭で健康観察を行い、頭痛、鼻水、倦怠感、発熱(37.5℃以上)等のかぜ症状がある場合は、自宅で経過観察をお願いします。同居されるご家族にも同様の症状がある場合、ご家族がPCRや濃厚接触者の指定を受けた場合も結果が出るまで、自宅待機をお願いします。

最後に・・・

新型コロナウイルス感染症を周りの人に広げないために生徒の皆さんは、感染すると多くの人に感染させるリスクが高いことを自覚し、「誰かに言われたから」ではなく、皆さん自身が自ら考え、行動し、周りの人や家族・大切な人を守るためにも、基本的な感染症対策や部活動等での取組を徹底してください。

また、この新型コロナウイルスは誰もがかかる可能性があります。かかってしまった人には早い回復を祈り、治ったら回復を喜び、他人を思いやる大切さも学校で生徒たちに伝えていきたいと思っています。治療薬やワクチンと並んで「人」の優しさが、ウイルスとの闘う強い武器になるのではないのでしょうか。新型コロナウイルス感染症をきっかけとした差別や誹謗中傷がうまれることがあってはなりません。皆さん一人ひとりが思いやりの心をもって学校生活を送って欲しいと思います。

保護者の皆様、今後お願いやご協力いただくことが多くあると思います。生徒たちが心も身体も安全に過ごすことができるよう、ご協力をお願いいたします。